

第2章 単純集計結果の概要

(1) 問1－回答者の性別

「女性」が50.9%を占め、「男性」の42.8%を上回った。

(2) 問2－回答者の年齢

上位回答は、「50歳代」が20.1%、「70歳以上」が18.9%、「60歳代」が17.6%であった。

(3) 問3－回答者の職業

上位回答は、「会社員・公務員・団体職員」が36.7%、「無職」が20.7%、「主婦・主夫」が13.1%であった。

(4) 問4－回答者の家族構成

上位回答は、「親子（2世代）世帯」が47.1%、「親子孫（3世代）世帯」が27.9%、「夫婦のみ（1世代）世帯」が17.1%であった。

(5) 問5－回答者の居住地

上位回答は、「阿久津小学校区」が29.4%、「西小学校区」が17.4%、「中央小学校区」が16.3%であった。

(6) 問6－回答者の愛着度

上位回答は、「愛着を感じている」が54.0%、「すこし愛着を感じている」が29.2%、「さほど愛着を感じていない」が13.6%であった。

(7) 問7－回答者の住み心地

上位回答は、「どちらかといえば住みやすい」が51.8%、「住みやすい」が32.0%、「どちらかといえば住みにくい」が13.3%であった。

(8) 問8－回答者の住み心地が良い点

上位回答は、「自然環境が豊か」が66.5%、「通勤・通学に便利」が45.0%、「防災・防犯など比較的治安が良い」が35.1%であった。

(9) 問9－回答者の住み心地が悪い点

上位回答は、「都市基盤が整っていない」が53.7%、「通勤・通学に不便」が29.8%、「高齢者・障害者への配慮が足りない」が26.6%であった。

(10) 問10－回答者の今後優先していくべき分野

上位回答は、「都市・生活基盤の整備」が 50.7%、「保健医療・福祉の充実」が 48.2%、「自然環境の維持と生活環境の向上」が 36.0%であった。

(11) 問11－優先度

「優先すべきである」と「やや優先すべきである」を合計した「優先」から、「あまり優先しなくてよい」と「優先しなくてよい」を合計した「非優先」を差し引き、これを優先度とみなして回答結果を把握した。

■都市・生活基盤の整備

都市・生活基盤の整備では、「5.汚水処理の充実」と「4.良質な水道水の供給」と「1.計画的な市街地整備」の優先度が高かった。

■自然環境の維持と生活環境の向上

自然環境の維持と生活環境の向上では、「10.防犯・交通安全対策の充実」と「9.防災機能の向上」の優先度が高かった。

■保健医療・福祉の充実

保健医療・福祉の充実では、「12.高齢者福祉・介護支援の充実」と「14.子育て支援策の充実」と「13.障害者福祉の充実」の優先度が高かった。

■教育・文化の充実

教育・文化の充実では、「17.健全な青少年の育成」と「16.学校教育・教育環境の充実」の優先度が高かった。

■産業経済の振興

産業経済の振興では、「25.雇用機会の提供」と「23.商業振興」の優先度が高かった。

■地域コミュニティ活動の充実

地域コミュニティ活動の充実では、「29.積極的な行政情報の提供」と「26.地域コミュニティの活性化」の優先度が高かった。